

# 全教事務職員部ニュース

2017年9月13日 NO.41

発行:全日本教職員組合 事務職員部

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館3階  
TEL 03-5211-0123 FAX 03-5211-0124

## 第27回 2017全国学校事務研究集会東京集会在開催されました！

2017年度全国学校事務研究集会東京集会在7月31日～8月1日にエデュカス東京(全国教育文化会館)で開催しました。全国から135名の参加者が集い、大変熱い論議で盛り上がり、大会を成功させることができました。

### 1日目

#### 講演

東京大学教授 勝野正章氏

今学校に必要な共同とは？

—『チーム学校』を超えて—



「チーム学校」に関わっては、教職員の働き方も論議されてきているが、本来権利や人権の話のほが、業務改善でしか論議されてこなかったこと自体が問題。「チーム学校」の背景には、複雑化・多様化する問題を解決するためや、さらには子どもと向き合う時間の確保のための体制整備などが考えられる。教育の市場化という側面から「世界で一番企業が活動しやすい国」づくりを推進し、企業側から見れば教育におけるビジネスチャンスが拡大。事務職員が学校運営に参加する上

では専門性・自立性を確立していくことが重要。事務職員の横の繋がりを作っていくことが重要。「チーム学校」や「共同事務室」は逆に分断されてしまう。困難な状況だが、今が頑張りどころ。事務職員の専門性を自分たち自身で確立していくことが大切である。

と、最後にエールのようなメッセージを頂きました。

#### 講座

元全教事務職員部部長 小宮幸夫氏

「チーム学校と共同学校事務室」は

なにをめざすのか？



事務職員に関わる文科省の資料を具体的に説明。今後、学校事務職員が「学校の運営に積極的に参加する」とした方向と矛盾する「共同学校事務室」の考え方をしっかり検証していく事が必要。7校の学校が1つのグループを作り、その拠点校に都費正規事務職員4名で構成する共同事務室を置き、各学校には非常勤職員を配置するという東京版「共同実施」の背景には事務職員定数の「要

準加配」や「大規模加配」を全廃すること、「共同事務室」を先駆けて実験し、現場を非常勤化することで「事務職員の役割」を低めることを試しています。文科省は、教職員定数について、自然減の中で専門スタッフや事務職員を非常勤化することで「学力強化策」に転用することを考えています。「学力強化」「管理強化」を「チーム学校」で行おうとしていくというのが、私の結論となります。

と、まとめて下さいました。

## 2日目

### 分科会レポート

#### 第1分科会

「学校力向上に関する総合実践事業について」  
北海道

「学校は設計士の作品作りの場ではない」  
東京

「事務だよりで つたえる」  
埼玉

#### 第2分科会

「義務制から府立高校に移動して Part2  
私費会計のとりくみ」  
大阪高

「学校徴収金についての取り組み」  
兵庫

「公費予算の増額と保護者負担軽減」  
高知

#### 第3分科会

「教育予算増額のために  
—財政の学習をしよう—」  
京都

「教育キャラバンのとりくみと  
保護者負担軽減対策について」  
青森

「就学援助アンケートと自治体の現状」  
和歌山

『奨学給付金』を高校版就学補助に  
—教育費無償化をめざして—

埼玉高

#### 第4分科会

「和歌山市支部事務職員部のとりくみ」  
和歌山

「学校事務職員未配置校支援の兼務について」  
高知

「島根県学校事務職員の給与問題について」  
島根



#### 特別分科会

「政令市への事務・権限委譲について」  
埼玉

『権限委譲』による関連事項の変更と  
今後の学校事務」  
大阪・堺

レポーターの皆さん、お疲れ様でした。そして、熱心な討論を繰り広げて下さった多くの参加者の皆さん、明日からのエネルギーの源となっていることを切に願っています。また、現地実行委員の皆様には、OBの方や再任用の方々も多く、たすけあられる姿がとても印象的でした。お世話になり、ありがとうございました。

2018年度は、北海道・札幌です。各組織とも未組合員にも意識的に声をかけ、誘いあって多くの参加者で北の大地に集みましょう。

無償教育をめざす学校事務職員の会 主催

## 「第7回無償教育を考えるフォーラム」開催

日時：2017年10月7日（土） 13:00～16:00

場所：全国教育文化会館7階大会議室

講師：千葉工業大学助教

福嶋尚子さん（コーディネーター）

報告者：学び塾「猫の足あと」代表

岸田久恵さん

全教教育行財政部長

波岡知朗さん

学校事務職員

鈴木裕美さん

学 生

依頼中

憲法に謳われている義務教育の無償と教育の機会均等をこの国の当たり前のこととなるよう、考え・語り合おうではありませんか。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

## 学校事務職員の待遇改善と

## 教育条件の整備を！

### 文科省に声を届けよう

例年、翌年度政府予算にむけた文部科学省概算要求に対する要請書名を実施してきたところですが、本年度は主な要望項目と「あなたの願い」を1枚の用紙にまとめて、文科省に届けます。

以下の4点を重点として要望書に反映させ文科省と交渉する予定です。

- 1, 就学援助費の国庫負担復活等公教育無償に関すること。
- 2, 単数配置校に短時間再任用職員や非常勤、臨時職員を配置しない等定数に関すること。
- 3, 高知県における定数枠の臨時的任用事務職員の空白期間が8月1日～14日となっている問題。
- 4, 政令市の給与等税源移譲に伴い学校事務職員の待遇が引き下げられている問題。

「願い」と名前を記入して、文科省交渉までに全教へ届けてください（名前だけでも大丈夫です）。一人でも、多くの方の声が届くように、

拡げて下さい。

第1次集約：10月7日（土）

最終集約：11月22日（水）

※文科省交渉当日の持ち込みも可能です。

1枚でもたくさん集めましょう！！

## 文科省交渉

2017年11月24日（金）

16時30分～

無償教育実現・学校事務職員の定数・待遇改善等に関する要望書」に基づき、特に今年度の重点項目について文科省に迫ります。

親愛なるあなたへ 全国の仲間の助けあい

全教共済

# 総合共済

をお届けします

退職時には掛金が全額戻ります！  
月々600円  
結婚、出産などお祝い給付が魅力です！



毎月加入できます